

習志野市立第二中学校 国語科 第3学年 シラバス

【学習の目標等】

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	漢字や語彙、文法表現など社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすること。 【語彙・漢字・文法】	・定期テスト ・漢字テスト ・成果物
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。 【話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと】	・定期テスト ・発表の様子 ・成果物
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度。 【学習習熟度・取り組みや発表の様子・成果物の様子】	・授業の様子 ・成果物 ・振り返りシート

【教科担任からのメッセージ】

(1) 国語科の学習について

国語科では、文章読解（読むこと）をはじめ、語彙、話すこと・聞くこと・書くこと書写など、幅広い領域の学習を行っていきます。さらに、それらの学習内容のほとんどは、今後の社会生活でも必要になる力です。日々の授業を大切にするとともに、失敗を恐れず、積極的な姿勢で学習に臨みましょう。

(2) 授業の持ち物

教科書・ノート・漢字ワーク・ワーク・ファイル ※必要に応じて辞書・資料集

(3) 授業の進め方・学習のポイント

毎授業、漢字学習の時間を設定します。継続的に学習を進めていきましょう。国語の授業では、自分で学習課題に取り組む時間が多くあります。課題へ取り組むことはもちろん、答えの確認や解き直しなども大切にしましょう。特に、文章の添削などはいつでも受け付けます。

(4) 家庭学習について

漢字を始めとした語彙学習は、継続して行うことを推奨します。授業は單元ごとに進めていきます。ワークを活用して計画的に復習を行えると、定期テストの対策にもつながります。「短期集中でコツコツと！」を合言葉に、家庭学習の習慣化を図りましょう。

【学習計画】（週時間数 3 時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
1 学期	○春に ○立ってくる春 ○情報を確かめてスピーチをする ○私 ○俳句の味わい ○薔薇のボタン ○構成を工夫して主張をまとめる ○メディア・リテラシーはなぜ必要か？ ○呉音・漢音・唐音 ○助詞のはたらき ○A I は哲学できるか ○客観性や信頼性のある記事を書く ○熟字訓 ○和語・漢語・外来語	・ 詩に描かれた物事の構成や展開に注意し、作品を批評する。 ・ 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 信頼できる情報か確かめて、スピーチをする。 ・ 読書が自分の生き方や社会との関わり方を支えていることを理解する。 ・ 俳句の中の言葉の使われ方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ・ 主張と根拠の関係について確かめながら、話す内容を検討する。 ・ 情報の信頼性の確かめ方について考える。 ・ 漢字の音の歴史についての理解を深める。 ・ 助詞のはたらきについて理解する。 ・ 筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。 ・ 熟字訓についての理解を深める。 ・ 和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。

2 学 期	○async——同期しないこと ○問いかける言葉 ○説得力のある批評文を書く ○助動詞のはたらき ○実用文の情報を捉えて生かす ○相手に対する配慮と表現 ○旅への思い ○和歌の調べ ○風景と心情 ○最後の一句 ○異字同訓 ○慣用句・ことわざ ○なぜ物語が必要なのか ○初恋 ○故郷 ○自己PR文を書く ○評価しながらスピーチを聞く ○四字熟語	・筆者の主張とその根拠を関係づけて読み、筆者の立場やものの見方、考え方を捉える。 ・構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える。 ・多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。 ・助動詞のはたらきについて理解する。 ・実用文の特徴を理解する。 ・場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 ・歴史的背景に注意しながら音読し、文章の特徴を理解する。 ・和歌の修辞と歴史的背景を意識しながら、そのリズムを味わう。 ・漢詩を読んで情景の描写を捉え、心情を理解する。 ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ・異字同訓についての理解を深める。 ・慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて構成や展開の仕方を捉え、内容を評価する。 ・詩のもつ文体に注意して、その特徴がどこにあるかを理解する。 ・語りに着目しながら読み、人間や社会、自然についての自分の意見をもつ。 ・目的や意図に応じた表現になっているかを確認して、文章全体を整える。 ・相手や場に適した言葉を用いたスピーチになっているかを確認する。 ・四字熟語についての理解を深める。
3 学 期	○持続可能な未来を創るために ○意見を共有しながら話し合う ○中学校生活をまとめて作品集を作る ○バースデイ・ガール ○青春の歌 ○やわらかな想い	・持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 ・出された意見の関係をおさえて話し合う。 ・自分の文章の収集と整理をする。 ・自分と社会との関わりを支える読書の価値やはたらきについて理解する。 ・無名性に着目しながら読み、短歌に描かれた青春というものについて自分の考えをもつ。 ・詩の表現に着目して読み、人間や社会、自然についての自分の意見をもつ。